

戦評用紙

第 5 試合 コート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第41回東京都ミニバスケットボール優勝大会	開催日 平成30年9月17日 (月)	会場 府中四谷体育館
男子 ・ 女子	対戦名 リトルスターズ vs	多摩フェアリーズ

1 Q

多摩フェアリーズボールでスタート。開始10秒で多摩フェアリーズ⑩がスピードあるドリブルシュートを決めて先制する。リトルスターズ④も果敢に攻めるが、シュートをはずしてしまう。
 多摩フェアリーズ⑤がゴール下でファウルをもらい、フリースローを2本とも決める。
 リトルスターズ④が相手ボールをカットしてドリブルシュートをするがはずしてしまう。
 しかし⑥のリバウンドで取り返す。
 結果、4対15で多摩フェアリーズがリードして1 Q終了。

2 Q

リトルスターズボールからのスタート。
 開始30秒、多摩フェアリーズ⑥のファウルでリトルスターズ⑦がフリースローを得る。
 1本はずし1本決める。その後もファウルを誘い、リトルスターズがフリースローをもらうが、得点にはつながらない。一方、多摩フェアリーズは速いパスが多くなる。多摩フェアリーズ⑦のロングシュートが決まると、続けて⑬のロングシュートも決まる。
 5対21で多摩フェアリーズがリードして2 Q終了。

3 Q

多摩フェアリーズボールでスタートする。リトルスターズ④がパスカットをして、スピードあるドリブルシュートをしたがはずしてしまう。しかしその勢いで、④と⑥の速攻で得点を重ねる。
 残り1分38秒、リトルスターズ④がファウルをもらうが、おしくもフリースローをはずしてしまう。
 両チーム激しいリバウンド争いをしながら13対25で3 Q終了。

4 Q

多摩フェアリーズ⑤のスピードあるドリブルシュートで4 Qがスタート。
 リトルスターズ⑥がゴール下でファウルを誘い、フリースローを得る。1本はずし1本決める。
 点差はあるが多摩フェアリーズ⑦が強気の1対1で攻めて、シュートを決める。
 続けて多摩フェアリーズ⑦のロングシュートも決まる。
 残り2分15秒リトルスターズのタイムアウト。
 リトルスターズは最後まで粘り強く攻めたが、得点差を詰めることはできず多摩フェアリーズが勝利し決勝進出。

リトルスターズ 16

4	—	15
1	—	6
8	—	4
3	—	12
	—	延長

37 多摩フェアリーズ

記入者氏名

松村 明子

所属

広報委員会

戦評用紙

第 1 試合 Aコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第41回東京都ミニバスケットボール優勝大会	開催日 平成30年9月23日 (日)	会場 有明スポーツセンター
男子 ・ 女子	対戦名 国分寺MBBC	VS リトルスターズ

1 Q ティイプオフはリトルスターズでスタートするがボールを奪われ開始 10 秒で国分寺⑦ジャンプシュートが決まり得点。その後、国分寺は厳しいディフェンスからボールを奪い⑥④が得点を重ねリードを広げる。リトルスターズもシュートはするが得点にはならず、残り 2分 12 対 0 になりたまたまタイムアウト。その後リトル⑥リバウンド保持して④がシュートまでいくが得点にならず。国分寺は④⑤の速攻で加点。残り 12 秒でリトル④のドリブルからのドライブで得点。16 対 2 国分寺リードで 1 Q 終了。

2 Q 開始早々国分寺⑨ジャンプシュートが決まると⑫ドライブイン⑨ファールからのフリースローを 2 本決め得点を重ねる。リトルも⑤のリバウンドショットで応戦。国分寺は⑩のドリブルからのドライブで得点。国分寺の厳しいディフェンスにリトルはなかなかシュートまでいけない。リトルスターズは、残り 1分 30 秒で⑤シュートからのフリースローを 1 本決める。その後、国分寺は着実に得点を重ね 32 対 5 国分寺リードで終了。

3 Q 後半の出だしはリトルスターズ④シュートからのファールをもらいフリースローを 2 本決める。その後、国分寺の厳しいディフェンスにリトルスターズがシュートまでいけない。国分寺④は、厳しいディフェンスからボールを奪いシュート、続けて⑨の速攻、ジャンプシュートが決まり加点をする。残り 50 秒リトルスターズ④がドリブルからのドライブで得点するが、52 対 9 国分寺リードで終了。

4 Q 国分寺④ジャンプシュート、ドライブイン決まる。リトルスターズは、④ミドルシュートで応戦。その後、国分寺⑨ジャンプシュート、リトルスターズ⑩ドリブルからのドライブで互いに得点を重ねる。国分寺は変わらず厳しいディフェンスでリトルスターズにシュートまでいかせない時間が続く。その後、リトルスターズは⑥がリバウンドショット、④ミドルシュートで得点はするが 70 対 20 で国分寺の勝利。ボールに対して厳しいディフェンスをした続けた国分寺が勝利したが最後まであきらめずシュートにいったリトルスターズであった。

国分寺	70	$\left[\begin{array}{r} 16 \text{ --- } 2 \\ 16 \text{ --- } 3 \\ 20 \text{ --- } 4 \\ 18 \text{ --- } 11 \\ \text{---} \end{array} \right]$	20	リトルスターズ	記入者氏名 小島一俊 <hr/> 所属 広報委員会 <hr/>
-----	----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----	---------	---------------------------------------------

戦評用紙

第 1 試合 Bコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第41回東京都ミニバスケットボール優勝大会		開催日 平成30年9月23日 (日)	会場 江東区有明スポーツセンター
男子 ・ 女子	対戦名	陶鎔ミニバスケットボールクラブ VS	多摩フェアリーズ

1 Q

トスアップで多摩フェアリーズがマイボールスタート、多摩⑩がドライブで攻めるも簡単には中に入れず距離のあるシュートをしいられる。互いに隙のないマンツーマンで付け入るスキがなく、多摩⑩のドライブに陶鎔⑫が2回の連続ファウルで止める。互いに焦り始めるが得点できない中、多摩⑤が得意とみられるロールからのミドルシュートで2点。陶鎔は落ち着いてパス回しをするも陶鎔⑤のミドルシュートが外れる。しかし陶鎔④がドライブインで2点を入れ追いつく。ロースコアの焦りから陶鎔のファウルが続きフリースローを多摩が4本決める。巻き返しを狙った陶鎔が速攻チャンスをいかし同点で終了する。

2 Q

互いのディフェンスには入るスキがなく、陶鎔⑥のドライブを止めきれず、フリースローを2本もらい確実に決める。パス回しをしディフェンスを動かすもスペースが作れず、互いにミドルやロングのシュートが多くなる。多摩⑨⑦が決めると陶鎔はフリースローをもらい一進一退の攻防が続く。互いにチームファウルが4つになり、ゴールやボールを譲らずドリブルのカットも続き息をのむ。残り2分同点で迎えたが陶鎔⑨ミドルシュートが入り、前半陶鎔2点リードで折り返す。

3 Q

試合が動いたのは3Qになってから、互いのディフェンスは劣ることはなかったが、得点を取るのに苦戦を強いられたのは、多摩だった。多摩⑤⑩シュートに入り込むもフィニッシュまでは行けず、多摩⑦のミドルに頼るが外し得点が取れない。反面、陶鎔⑦のミドルシュートが決まり点差を広げていく。相手のミスを狙った陶鎔が⑦ - ④ - ⑩のパス回しのラインからミドルシュート、⑦ - ⑨ - ④のミドルシュートで得点を稼ぎ突き放す。多摩は焦りでドライブに頼ってミスをする。陶鎔は落ち着いたパス回しを見せ得点差8点で終了

4 Q

3Qでペースを取り戻せたのか、陶鎔は最初から落ち着きパス回しでシュートチャンスをうかがう。陶鎔④ - ⑥ - ⑦ - ⑨で2点、得点が思うように取れない多摩が焦り隠せず、シュートチャンスで中に切り込むも、シュートミス、フリースローをもらうも得点は無し。その後、徐々に離されていき、たまたま多摩のタイムアウト。その時点で14点差がついてしまい多摩の落ち着きがなくなっていたことがうかがえる。タイムアウト後の先制は陶鎔⑦ - ④ - ⑨でミドルを外すもリバウンドで長身172cmの⑩が制し得点を決める。その後、多摩の反撃は④のミドルのシュートが入ったが、陶鎔のディフェンスは固くそれ以外の得点は許されなかった。互いのスキルも高く、一瞬の緩みや隙を狙うために我慢をして時を待つというような試合だった。

陶鎔
ミニバスケットボールクラブ 32

8	—	8
6	—	4
8	—	2
10	—	4
—	—	—

18 多摩フェアリーズ

記入者氏名
坂口 忍

所属
広報委員会

戦評用紙

第 3 試合 Aコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第41回東京都ミニバスケットボール優勝大会		開催日 平成30年9月23日(日)	会場 有明スポーツセンター
男子 ・ 女子	対戦名	多摩フェアリーズ VS	国分寺MBBC

1 Q 決勝リーグ1勝1敗同士の最終戦。お互いミスが先行したが国分寺が先にペースをつかむ。まず⑤がドライブで得たフリースローを2本とも入れ、次にエンドスローインからジャンプシュートを決める。続いて⑥がフリースローを1本入れて、更に⑤がドライブから得点、この時点で7対0となる。多摩フェアリーズは⑤を中心に攻める中シュートがリングに嫌われていたが、残り3分にようやく⑤がミドルシュートを沈めて初得点、更にドライブがバスカンとなりフリースローも入れて食い下がる。国分寺は⑥と⑤がリバウンドシュート、⑥が更にジャンプシュートを入れ返し、再び突き放そうとする。多摩フェアリーズはガード⑩の見事なアシストで⑤がゴール下シュートを入れ、最後は⑤のブザービートのミドルシュートが見事に決まり、結局このクォーターは9対13で国分寺が先行。

2 Q 多摩フェアリーズのボールでスタート、④⑥⑦で攻めを組み立てようとするも国分寺の激しい守りに阻まれて3分以上ノーゴール。対する国分寺は⑨がミドルシュート、リバウンドからのシュート、ドライブからのジャンプシュートで6得点、9対19と10点差となる。しかし多摩フェアリーズ④が国分寺の厳しいディフェンスをかわしてミドルシュートを決めると、チームはそこからリズムに乗り始める。まず④がドライブで追加得点し、長身の⑥がリバウンドを頑張る。国分寺のチームファウルから、多摩フェアリーズ⑥が4本、④が2本のフリースローを入れて一時は2点差まで追いつく。それでも国分寺はクォーター終盤にエンドスローインからのプレーで⑩がジャンプシュートを決め、残り3秒には⑨がミドルシュートを沈める。結局このクォーターだけみれば10対10と勝負は互角であった。

3 Q 多摩フェアリーズのボールでスタートしたが、初得点は⑧がきれいなパス・スティールを決めた国分寺。多摩フェアリーズはリバウンドを頑張り⑤が粘った末にバスカン。フリースローは落としたもののオフェンス・リズムが良くなり、⑥のジャンプシュート、④のミドルシュートとつないでいく。国分寺は速いパス回しから④のジャンプシュート、⑨のミドルシュート、④と⑨のジャンプシュートが効果的に決まり引き離しにかかる。多摩フェアリーズは⑦のロングシュートで食い下がり、更にはブロックシュートを連発する固いディフェンスで国分寺の追加得点を許さない。⑥のリバウンドシュートと⑤のミドルシュートで2点差まで迫ったが、国分寺は⑤がブザービートのミドルシュートを沈める。このクォーターだけみれば12対12とまたもや互角な戦いとなった。

4 Q 国分寺ボールでのスタート、パスがよく回りシュートを正確に沈めていく。まず⑨がミドルシュートを入れ、次いで⑦が巧みなステップから得点、更に④のジャンプシュート、⑦がパススティールからワンマン速攻で得たフリースローを2本とも決め、④がミドルシュートでたたみかける。その間多摩フェアリーズの得点は⑦のミドルシュート1本に留まり、残り3分弱で45対33と12点差となった。ここで多摩フェアリーズはエース⑤が意地のバスカンを決め、フリースローこそ落としたものの、エンドスローインを得て、ここでチームはタイムアウトを取る。⑩のガードを投入しスピードアップする中、⑤は難しいジャンプシュートを沈め、更にジャンプシュート、ミドルシュートと得点を重ねる。国分寺は時間を使いながら試合をコントロールし、終盤に④がミドルシュートを入れてダメ押し。47対41でタイムアップとなった。

多摩フェアリーズ 41	{	9 — 13	47	国分寺	記入者氏名 <u>堀野正人</u>
		10 — 10			
		12 — 12			
		10 — 12			
		<u>延長</u>			
					所属 <u>広報委員会</u>

戦評用紙

第 3 試合 Bコート

東京都ミニバスケットボール連盟 広報委員会

第41回東京都ミニバスケットボール優勝大会		開催日 平成30年9月23日 (日)	会場 江東区有明スポーツセンター	
男子	女子	対戦名	リトルスターズ	VS 陶鎔ミニバスケットボールクラブ

1 Q

陶鎔ボールで試合がスタート。最初の得点は陶鎔⑥を決め、続けて陶鎔⑥が連続して得点する。リトルスターズは④がフリースローを決め得点は返す。そして立て続けにリトルスターズ④がドライブを仕掛けファールをもらい1本シュートを決める。残り15秒でリトルスターズ④が45度のあたりからシュートするが決めることができず得点の差をつめることができない。

2 Q

このQのリトルスターズの最初のプレーはスクリーンプレーにより得点する。すぐさま陶鎔⑥がゴール下でのシュートで得点を返す。残り3:58、リトルスターズのパスミスが続きリトルスターズがタイムアウトを取るが、タイムアウト明けで得点ができず、陶鎔⑦にシュートを決められ、得点差が開いてしまう。残り15秒、リトルスターズ⑦がファールをもらいフリースロー2本を決める。

3 Q

後半はリトルスターズから試合がスタートする。リトルスターズ④がボールを受け最初のシュートをするが得点に至らない。陶鎔の最初の得点は⑦で、フリースローをしっかりと決める。残り40秒、リトルスターズ④がバックコートから早いドリブルでカットインしてシュートを決める。

4 Q

リトルスターズはこのQで得点差をどう詰めるか。陶鎔は陶鎔⑥がペイント内に侵入しパスをつなげシュートを決める。続けて陶鎔④がドリブルからのシュートを決める。そして、陶鎔⑦がトップの位置からペイント内で3連続得点。陶鎔はメンバーチェンジで全員入れ替える。リトルスターズは⑦がシュートを決める。残り1:08、リトルスターズがメンバーチェンジ。陶鎔も再度メンバーを変え試合を進める。リトルスターズは得点を詰めることができず、試合が終了した。

リトルスターズ 30

7	—	14
8	—	14
4	—	10
11	—	12
—	—	—

50

陶鎔

記入者氏名

松崎忠弘

所属

広報委員会